

JHL NEWS

No.23

2010年3月8日

●発行●
日本ハンドボールリーグ委員会
委員長・高村 誠一
東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2494

大同が最終戦に快勝! 湧永、紡織がプレーオフへ

~第34回 日本ハンドボールリーグ・第22週~

第34回日本ハンドボールリーグ第22週は、レギュラーシーズン最終となる男子3試合が行われ、大同特殊鋼、トヨタ車体、湧永製薬が勝利を収めた。この結果、すでにシーズン1位が決定している大同以下、車体の2位、湧永の3位、トヨタ紡織九州の4位が決まり、この4チームが3月20、21日のプレーオフ（東京体育館）で優勝を争うことになった。女子は北國銀行（1位）、オムロン（2位）、ソニーセミコンダクタ九州（3位）のプレーオフ進出が決まっている。

茨城での大同・大崎電気戦は、この試合に勝つか引き分けでプレーオフ切符がつかめる大崎が、大同の高いディフェンスに対してポストを有効に使い、前半11分5-3と先行した。しかし、大同は白の個人技を活かした3連打などで14分までに4点を連取して7-5と形勢を逆転。その後は大同が白のミドルシュートや武田のロングシュートなどで加点すれば、大崎も豊田のステップシュート、小澤の速攻などで食らいつき、12-11と大同1点リードで前半が終わった。後半開始早々、大崎が小澤の速攻、豊田の7mスローで逆転に成功したが、大同は7分過ぎから末松、武田らの活躍でペースアップ、10分17-14とリードを奪うと、効果的な連続得点やGK高木の好セーブもあって優位をキープした。後半22分24-18と大同が6点リード。プレーオフへ後のない大崎も総攻撃を仕掛け、終盤に4連続得点で意地を見せたが、終始落ち着いたプレーで試合を運んだ大同が27-24でシーズン1位の賞を示した。なお、この試合で大崎・豊田が通算500得点を達成した。

最終戦に勝利すれば初のシーズン2位が決まる車体は、多くの地元サポーターの応援を受けながら豊田合成と対戦。合成が今村のミドルシュートで先制したものの、すぐさま藤田のポストシュートで同点に追いついた車体は、その後、野村のカットインで加点すると一気に突き放しにかかった。その後も鶴谷、崎前の両サイドを中心にコンスタントに得点を加え、20-9と大量リードを奪って前半を終了。後半も車体は手を緩めることなく合成ゴールを攻め続け、開始から11分までに崎前、鶴谷、銘苅などで12得点を連取。終盤28分には野村の歴代6位タイとなる702得点目も決まり、地力で勝る車体が大差で勝利し、プレーオフに弾みをつけた。

沖縄での琉球コラソン・湧永戦は、開始早々からセンターライン付近の高い位置でプレスディフェンスを仕掛けた琉球に対し、湧永はスムーズなパス展開で相手ディフェンスをかわし、ポストやサイドのカットインなどで次々と加点、22分15-5と大きくリードを奪った。琉球もクイックスタートやディフェンスからの速攻などで食い下がるが、点差を縮めることはできず、20-9と湧永リードで前半終了。後半に入ても湧永ペースは変わらず、手堅いディフェンスで琉球のオフェンスを封じてスピーディな速攻につなげ、5分から東長濱、新らで6連続得点を奪い10分28-12として勝利を決定づけた。最終的には41-21で湧永が大勝。新が11得点をマークしたのをはじめ、名嘉が8得点、東長濱も7得点を奪い、湧永の勝利に大きく貢献した。この試合で湧永のシーズン3位が決まった。

レギュラーシーズン終了にともない個人表彰が発表され、男子・末松誠（大同）、女子・上町史織（北國）が最優秀選手に選出された。

プレーオフ日程表

月/日(曜)	開催地	会 場	男/女	カード
3月20日(土)	東京	東京体育館	女子	①プレーオフ準決勝 オムロン（通算2位）vs ソニーセミコンダクタ九州（通算3位）
			男子	②プレーオフ準決勝 大同特殊鋼（通算1位）vs トヨタ紡織九州（通算4位）
			男子	③プレーオフ準決勝 トヨタ車体（通算2位）vs 湧永製薬（通算3位）
3月21日(日)	東京	東京体育館	女子	プレーオフ決勝 北國銀行（通算1位）vs ①の勝者
			男子	プレーオフ決勝 ②の勝者 vs ③の勝者



①最終戦を危なげなくものにした大同特殊鋼・白②初のシーズン2位を決めたトヨタ車体・崎前（撮影：家村昭一）

◆ 3月5日(金) 男子 愛知・ウィングアリーナ刈谷				◆ 3月6日(土) 男子 沖縄・沖縄県立武道館				◆ 3月7日(日) 男子 茨城・ひたちなか市総合運動公園総合体育館			
トヨタ車体 40 (20-9) 10勝1分3敗	豊田合成 17 (20-8) 2勝2分10敗	琉球 9勝1分4敗	大同特殊鋼 27 (12-11) 12勝1分1敗	大崎電気 24 (15-13) 8勝1分5敗							
2/2 石戸 大立 K 5/6 佐々木 原 3/4 1/1 安藤 黒木 0/0 3/5 5/6 野村 大橋 1/5 1/1 藤田 桶谷 0/3 2/2 高木 中島 4/8 3/4 北出 森光 3/6 2/3 <1/3> K田 平藤 K <0/1> 2/2 小沢 今村 4/10 6/7 鶴谷 中村 0/2 K坪根 芳仲 0/0 1/3 香川 藤堂 K <2/6> 5/6 崎前 畠中 0/3 2/2 2/3 銘苅 佐藤 0/0	<0/1> K志水 0/0 6/9 谷村 久高 0/1 2/3 木村 山 3/11 1/1 1/3 坂本 水野矢 1/2 0/0 演本 東 6/12 0/0 福田 玉城 0/0 1/3 佐藤 池田 1/1 志慶真 4/8 11/11 新内田 K <2/3> 1/2 今井 嘉 1/2 K松村 内山 0/1 1/1 古家 高田 4/10 3/3 山口 石田 K <0/2> 1/3 6/7 東長濱 水野紀 0/0	宮城 0/0 1/1 4/9 末松 0/0 浦田 0/0 0/0 地引 5/10 武田 豊田 6/11 1/1 <0/1> K高木 永島 4/5 2/2 千々波 横地 0/0 1/3 山城 東森 1/2 K東 森岩永 1/4 1/1 9/15 白元皓 0/2 松永 2/4 0/2 松永 内田 2/4 2/4 渡久川 猪妻 1/4	浦和 K 0/0 小澤 7/9 前田 1/6 中川 0/4 豊田 6/11 1/1 岸川 望月 0/0 永島 4/5 横地 0/2 東森 K <1/3> 岩永 1/4 内田 2/4 猪妻 1/4								
5/7 35/43 8(FPP)9 審判(杉山・各務)	15/41 2/3 観客 950人	3/5 38/50 5(FPP)13 審判(亀井・堀川)	20/48 1/1 観客 756人	2/3 25/56 7(FPP)7 審判(本田・田渕)	23/51 1/1 観客 1566人						

第34回日本リーグ表彰一覧

〈男子〉

- 最高殊勲選手賞 プレーオフ終了後発表
- 最優秀監督賞 プレーオフ終了後発表
- 殊勲選手賞 プレーオフ終了後発表
- 得点王 末松 誠 (大同特殊鋼) 107点 3回目
- フィールド得点賞 末松 誠 (大同特殊鋼) 96点 2回目
- シュート率賞 末松 誠 (大同特殊鋼) 0.691 2回目
- 7mスロー得点賞 銘苅 淳 (トヨタ車体) 28点 初
- 7mスロー阻止率賞 坪根 敏宏 (トヨタ車体) 0.529 (9/17) 初
- 最優秀選手賞 末松 誠 (大同特殊鋼) 3回目
- 最優秀新人賞 谷村 遼太 (湧永製薬)
- ベストセブン G K高木 尚 (大同特殊鋼) 3回目
- C P門山 哲也 (トヨタ車体) 初
- 末松 誠 (大同特殊鋼) 3回目
- 東長濱秀作 (湧永製薬) 初
- 白 元皓 (大同特殊鋼) 7回目
- 村上 秀行 (トヨタ紡織九州) 2回目
- 豊田 賢治 (大崎電気) 4回目
- 武田 享 (大同特殊鋼) 2回目
- ベストディフェンダー賞 トヨタ車体 91点/14試合 (6.5点/試合)
- フェアプレー賞 池淵 智一・檜崎 潔
- 審判表彰
- 最優秀レフェリー賞

・最優秀新人レフェリー賞 本田 昭太・田渕 元雄

〈女子〉

- プレーオフ終了後発表
- プレーオフ終了後発表
- プレーオフ終了後発表
- 上町 史織 (北國銀行) 135点 2回目
- 郭 恵静 (ソニーセミコンダクタ九州) 104点 7回目
- 高橋 由香 (ソニーセミコンダクタ九州) 0.841 初
- 上町 史織 (北國銀行) 44点 2回目
- 家城 千香 (HC名古屋) 0.485 (16/33) 初
- 上町 史織 (北國銀行) 2回目
- 高橋 恵 (ソニーセミコンダクタ九州)
- G K田代ひろみ (北國銀行) 2回目
- C P洪 廷昊 (オムロン) 3回目
- 高橋 恵 (ソニーセミコンダクタ九州) 初
- 横嶋かおる (北國銀行) 3回目
- 上町 史織 (北國銀行) 3回目
- 藤井 紫緒 (オムロン) 初
- 城内 真紀 (オムロン) 2回目
- 中村 香理 (北國銀行) 初
- H C名古屋 74点/15試合 (4.9点/試合)

プレーオフ情報

〈男子組み合わせ〉



〈女子組み合わせ〉



〈テレビ中継〉

試合日時	対戦カード	放送日	放送時間	放送チャンネル
3月20日(土)	男女準決勝	3月20日(土)	13:00~18:58 (生中継)	BS12
3月21日(日)	男女決勝	3月21日(日)	13:00~16:58 (生中継)	BS12

※両日とも放送時間延長あり

入場料金

券種	当日券	前売券
一般・大学生	2,000円	1,700円
中高生	1,000円	800円
中高生5名券	-	3,000円
小学生以下	無料	-

※アリーナ席、一般席(2階席、3階席)とも、全席自由席です。

※上記券種ご購入で、アリーナ席で観戦いただけます(先着順)。

※中高生5名券は5枚同時発券で、前売券のみ販売します。

◎前売券販売について

※チケットぴあにて販売中

Pコード: 815-679

※購入方法詳細はチケットぴあHPをご覧ください。

<http://t.pia.jp/>

男女個人ランキング 第22週終了

《男子》

《女子》

得点王

1	末松 誠	(大同特殊鋼)	107 点	(14試合)	1	上町 史織	(北國銀行)	135 点	(15試合)
2	門山 哲也	(トヨタ車体)	83 点	(12試合)	2	郭 惠靜	(ソニ一)	104 点	(15試合)
3	今村 彰伸	(豊田合成)	80 点	(14試合)	3	植垣 曜恵	(メイプルレッズ)	99 点	(15試合)
4	東長濱秀作	(湧永製薬)	79 点	(13試合)	4	藤井 紫緒	(オムロン)	92 点	(13試合)
5	豊田 賢治	(大崎電気)	76 点	(14試合)	5	横嶋かおる	(北國銀行)	86 点	(15試合)
6	村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	75 点	(13試合)	6	伊藤亜衣美	(バイオレットアイリス)	80 点	(15試合)
7	銘苅 淳	(トヨタ車体)	72 点	(14試合)	7	高橋 恵	(ソニ一)	71 点	(13試合)
8	小澤 広太	(大崎電気)	70 点	(14試合)	8	高栖 由香	(ソニ一)	69 点	(15試合)
8	武田 享	(大同特殊鋼)	70 点	(13試合)	9	高田 裕梨	(オムロン)	65 点	(15試合)
10	村山 裕次	(琉球コラソン)	69 点	(14試合)	10	桂 裕美子	(バイオレットアイリス)	57 点	(15試合)
11	白 元皓	(大同特殊鋼)	65 点	(13試合)	11	洪 廷昊	(オムロン)	56 点	(15試合)
12	志慶真龍我	(琉球コラソン)	64 点	(14試合)	12	東濱 裕子	(オムロン)	54 点	(15試合)
13	中畠 嘉之	(トヨタ紡織九州)	63 点	(14試合)	13	橋本 寛子	(バイオレットアイリス)	53 点	(15試合)
14	吳 相民	(トヨタ紡織九州)	59 点	(14試合)	14	菅谷 美奈	(H C 名古屋)	51 点	(15試合)
14	藤山 岳士	(トヨタ紡織九州)	59 点	(14試合)	15	若松 里佳	(北國銀行)	50 点	(15試合)

フィールド得点

1	末松 誠	(大同特殊鋼)	96 点	(14試合)	1	郭 惠靜	(ソニ一)	104 点	(15試合)
2	門山 哲也	(トヨタ車体)	83 点	(12試合)	2	上町 史織	(北國銀行)	91 点	(15試合)
3	今村 彰伸	(豊田合成)	80 点	(14試合)	3	横嶋かおる	(北國銀行)	86 点	(15試合)
4	村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	74 点	(13試合)	4	高栖 由香	(ソニ一)	69 点	(15試合)
5	小澤 広太	(大崎電気)	70 点	(14試合)	4	植垣 曜恵	(メイプルレッズ)	69 点	(15試合)
5	武田 享	(大同特殊鋼)	70 点	(13試合)	6	高田 裕梨	(オムロン)	65 点	(15試合)
7	志慶真龍我	(琉球コラソン)	63 点	(14試合)	7	伊藤亜衣美	(バイオレットアイリス)	63 点	(15試合)
7	中畠 嘉之	(トヨタ紡織九州)	63 点	(14試合)	8	藤井 紫緒	(オムロン)	61 点	(13試合)
9	豊田 賢治	(大崎電気)	61 点	(14試合)	9	桂 裕美子	(バイオレットアイリス)	57 点	(15試合)
10	東長濱秀作	(湧永製薬)	59 点	(13試合)	10	洪 廷昊	(オムロン)	56 点	(15試合)
10	吳 相民	(トヨタ紡織九州)	59 点	(14試合)					

シュート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1	末松 誠	(大同特殊鋼)	96点/139射 0.691		1	高栖 由香	(ソニ一)	69点/ 82射 0.841	
2	小澤 広太	(大崎電気)	70点/107射 0.654		2	横嶋かおる	(北國銀行)	86点/ 110射 0.782	
3	村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	74点/115射 0.643		3	高田 裕梨	(オムロン)	65点/ 105射 0.619	
4	門山 哲也	(トヨタ車体)	83点/141射 0.589		4	桂 裕美子	(バイオレットアイリス)	57点/ 93射 0.613	
5	志慶真龍我	(琉球コラソン)	63点/108射 0.583		5	上町 史織	(北國銀行)	91点/ 156射 0.583	

7mスロー得点

1	銘苅 淳	(トヨタ車体)	28 点	(14試合)	1	上町 史織	(北國銀行)	44 点	(15試合)
2	藤山 岳士	(トヨタ紡織九州)	27 点	(14試合)	2	藤井 紫緒	(オムロン)	31 点	(13試合)
3	村山 裕次	(琉球コラソン)	22 点	(14試合)	3	植垣 曜恵	(メイプルレッズ)	30 点	(15試合)
4	東長濱秀作	(湧永製薬)	20 点	(13試合)	4	東 サヤカ	(ソニ一)	20 点	(14試合)
5	豊田 賢治	(大崎電気)	15 点	(14試合)	5	菅谷 美奈	(H C 名古屋)	18 点	(15試合)
5	森光 勇太	(豊田合成)	15 点	(14試合)					

7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1	坪根 敏宏	(トヨタ車体)	9本/ 17射 0.529		1	家城 千香	(H C 名古屋)	16本/ 33射 0.485	
2	田平龍太郎	(トヨタ車体)	7本/ 17射 0.412		2	勝田 祥子	(オムロン)	7本/ 16射 0.438	
3	内田 武志	(琉球コラソン)	6本/ 15射 0.400		3	堂面 妙子	(メイプルレッズ)	9本/ 25射 0.360	
4	松野 雅崇	(トヨタ紡織九州)	10本/ 26射 0.385		4	中島 亜樹	(ソニ一)	5本/ 16射 0.313	
5	東 佑三	(大崎電気)	7本/ 19射 0.368		5	寺田三友紀	(北國銀行)	11本/ 37射 0.297	

第34回日本ハンドボールリーグ成績表 レギュラーシーズン日程終了 3月7日

順位	男子	大同特殊鋼	トヨタ車体	湧永製薬	トヨタ紡織九州	大崎電気	豊田合成	琉球コラソン	北陸電力	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大同特殊鋼		30 27 ○ △ 23 27	32 29 ○ ○ 26 25	35 28 ○ ● 29 29	24 27 ○ ○ 19 24	48 40 ○ ○ 24 19	35 37 ○ ○ 24 19	36 40 ○ ○ 23 24	14	12	1	1	25	468	335	133
2	トヨタ車体	23 27 ● △ 30 27		32 33 ○ ○ 30 26	27 31 ● ○ 28 30	25 30 ● ○ 36 22	30 40 ○ ○ 24 17	33 30 ○ ○ 23 27	28 30 ○ ○ 17 23	14	10	1	3	21	419	360	59
3	湧永製薬	26 25 ● ● 32 29	30 26 ● ● 32 33		23 34 △ ○ 23 31	28 27 ○ ○ 21 25	39 31 ○ ○ 23 20	37 41 ○ ○ 26 21	35 33 ○ ○ 17 16	14	9	1	4	19	435	349	86
4	トヨタ紡織九州	29 29 ● ○ 35 28	28 30 ○ ● 27 31	23 31 △ ● 23 34		30 26 △ ● 30 28	40 37 ○ ○ 21 27	36 29 ○ ○ 28 24	30 32 ○ ○ 23 23	14	8	2	4	18	430	382	48
5	大崎電気	19 24 ● ● 24 27	36 22 ○ ● 25 30	21 25 ● ● 28 27	30 28 △ ○ 30 26		43 30 ○ ○ 18 19	34 34 ○ ○ 27 27	28 24 ○ ○ 24 18	14	8	1	5	17	398	350	48
6	豊田合成	24 19 ● ● 48 40	24 17 ● ● 30 40	23 20 ● ● 39 31	21 27 ● ● 40 37	18 19 ● ● 43 30		22 33 △ ○ 22 29	22 24 △ ○ 22 17	14	2	2	10	6	313	468	-155
7	琉球コラソン	24 19 ● ● 35 37	23 27 ● ● 33 30	26 21 ● ● 37 41	28 24 ● ● 36 29	27 27 ● ● 34 34	22 29 △ ● 22 33		33 27 ○ ○ 29 18	14	2	1	11	5	357	448	-91
8	北陸電力	23 24 ● ● 36 40	17 23 ● ● 28 30	17 16 ● ● 35 33	23 23 ● ● 30 32	24 18 ● ● 28 24	22 17 ● ● 22 24	29 18 ● ● 33 27		14	0	1	13	1	294	422	-128

※上位4チームはプレーオフで順位を決定する。

順位	女子	北國銀行	オムロン	ソニーセミコンダクタ九州	広島メイプルレッス*	三重バイオレットアイリス	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	北國銀行		30 19 24 ○ ● △ 25 21 24	33 23 31 ○ ● ○ 27 31 24	34 31 26 ○ ○ ○ 28 22 23	29 30 22 ○ ○ ○ 21 18 14	37 31 27 ○ ○ ○ 16 15 14	15	12	1	2	25	427	323	104
2	オムロン	25 21 24 ● ○ △ 30 19 24		27 36 24 ● ○ ○ 28 21 22	33 36 34 ○ ○ ○ 17 15 21	23 28 27 ○ ○ ○ 16 19 20	40 37 33 ○ ○ ○ 11 14 12	15	12	1	2	25	448	289	159
3	ソニーセミコンダクタ九州	27 31 24 ● ○ ● 33 23 31	28 21 22 ○ ● ● 27 36 24		45 39 31 ○ ○ ○ 26 24 29	32 35 31 ○ ○ ○ 20 28 25	42 42 34 ○ ○ ○ 15 20 21	15	11	0	4	22	484	382	102
4	広島メイプルレッス*	28 22 23 ● ● ● 34 31 26	17 15 21 ● ● ● 33 36 34	26 24 29 ● ● ● 45 39 31		28 15 19 ○ ● ○ 27 21 16	36 33 32 ○ ○ ○ 20 13 18	15	5	0	10	10	368	424	-56
5	三重バイオレットアイリス	21 18 14 ● ● ● 29 30 22	16 19 20 ● ● ● 23 28 27	20 28 25 ● ● ● 32 35 31	27 21 16 ● ○ ● 28 15 19		30 31 27 ○ ○ ○ 15 16 13	15	4	0	11	8	333	363	-30
6	HC名古屋	16 15 14 ● ● ● 37 31 27	11 14 12 ● ● ● 40 37 33	15 20 21 ● ● ● 42 42 34	20 13 18 ● ● ● 36 33 32	15 16 13 ● ● ● 30 31 27		15	0	0	15	0	233	512	-279

※上位3チームはプレーオフで順位を決定する。1-2位は対戦間得失点差による。